

生涯学習課による、インターネットの健全利用についての取組をご紹介します

企業と協働し「インターネットセーフティ」を推進しています

①秋田魁新報に「うまホと学ぼう！ネット利用」を連載中！

「大人が支える！インターネットセーフティの推進」の一環で、今年度、秋田魁新報社との協働企画による記事「うまホと学ぼう！ネット利用」を6月より連載しています。

子どもたちのインターネット健全利用は、しつけや生活習慣と同じく、家庭教育に関わるテーマであることから、子どもと保護者が安心・安全にスマホ等を利用するために必要な情報を提供しています。

インターネットセーフティPRキャラクター「うまホ」が聞き手となり、毎回、テーマに沿った質問や疑問に生涯学習課が答える「Q&A方式」の記事となっています。

掲載記事は、県公式HP「美の国あきたネット」で公開しており、学校・園等における資料としても、記事そのままご活用いただけます。12月まで全30回の連載を予定しています。皆さんもぜひ記事をご覧ください、子どもたちのネットの問題に少し詳しくなってみませんか？



うまホと学ぼう！ネット利用 ⑩

匿名だと個人は特定されない？

うまホ インターネット上では、自分の名前を明かさなくても取り出せるのがいいよね。知られていないと、ちょっと安心だし。

県教育庁生涯学習課 そうだね。例えば、ニックネームでオンラインゲームをやったり、掲示板に書き込んだりできる。実名を使わずともいいのは気楽かもしれないね。

ただ、ニックネームに慣れちゃうのは心配だね。ネットの世界を現実とは違う空間と思いついて、人の悪口や大胆なことを書き込んでしまったりもいるからね。現実の社会でやってはいけないことは、ネットの世界でも同じ。匿名だからといって何を言ってもいい、なんて思わないでね。

うまホ でも、匿名だと個人は特定されにくいんだよね？

生涯学習課 そんなことはないよ。名前や顔を隠しても投稿した人を捜し出すことは難しくはないんだ。ネット上のさまざまな情報も組み合わせることによって、個人をあつという間に特定することがある。これは、誰の身にも起こりうることなんだよ。

ネット上に匿名性はないと思っていてほしい。誰から見られても問題のないように、責任を持って発信しよう。

発信に責任を持って



インターネットセーフティPRキャラクター「うまホ」

平成26年12月、小・中学生454点の応募の中から、秋田市立山王中学校の柴田陶子さんの原案を採用し誕生。「うまくスマホ等を使ってほしい」という願いが込められている。リーフレットやチラシ・ポスター、PRグッズ等の作成に利用し、保護者等への啓発、取組の周知に広く活用している。

②PRラッピングカー「うまホ号」発進！

インターネットセーフティの取組に賛同した羽後日産モーター株式会社から、電気自動車「リーフ」が無償貸与されました。車体に、PRキャラクター「うまホ」とキャッチフレーズ「うまくスマホを使おう！」をラッピングし「うまホ号」と名付けました。

6月30日（火）に県庁第二庁舎前で貸与式が開かれ、同社の渡辺忍営業本部長より、米田教育長に鍵のレプリカが手渡されました。貸与期間は来年3月末までとなっており、出前講座や地域サポーター養成講座等のインターネットセーフティ事業の他、生涯学習や文化財保護の事業で県内各地を移動する際にも活用します。

皆さんも「うまホ号」を街で見かけたら、「インターネットセーフティ」をぜひ思い出してくださいね。



近代美術館	「滝平二郎の世界展」 平成27年9月19日(土)～11月23日(月・祝) ※会期中無休
 <p>「花さき山 COVER」</p>  <p>「八郎 COVER」</p> <p>画像 ©JIRO TAKIDAIRA OFFICE Inc.</p>	<p>名作絵本『モチモチの木』や『花さき山』の挿絵画家として知られる、滝平二郎（たきだいら・じろう）の展覧会を秋田で初開催します。農学校卒業後、木版画家として活動を開始した滝平は、次第に本の装丁や挿絵の世界へと活躍の場を広げていきました。後に、木版画と並行して取り組み始めた独特な「きりえ」の作品が話題となり、1970年代に朝日新聞で連載されると大きな反響を呼びました。</p> <p>本展では、初期の木版画をはじめ、名作絵本の原画、新聞連載の「きりえ」に加え、貴重なデッサンや下絵など、過去最大規模の約230点によって滝平の画業を振り返ります。滝平が横手市で制作した木版画「秋田にて」をはじめ、作家・斎藤隆介との名コンビにより生み出された絵本『八郎』や『三コ』の原画など、秋田ゆかりの作品も併せてお楽しみください。</p> <p>[問合せ先] 秋田県立近代美術館 TEL 0182-33-8855</p>

博物館	<p>徳川家康没後400年・秋田県立博物館開館40周年記念</p> 特別展「徳川将軍家と東北～泰平の世の歴史と名宝～」 平成27年9月12日(土)～10月25日(日) ※休館日：月曜日(9月21日、10月12日は開館)、9月24日(木)、10月13日(火)
<p>徳川将軍家を中心として幕府と各藩が全国の統治を行った江戸時代は、戦争のほとんどない歴史上特異な時代です。その260余年は、現在まで続くその後の歴史と日本文化に大きな影響を与えたことは言うまでもありません。</p> <p>東北においても、関ヶ原合戦前後における武家各氏の動きとその後の徳川家康による領知割りによって、“泰平の世”の到来とともに、新たな秩序がもたらされました。また、その時代が終焉を迎える戊辰戦争での東北諸藩の動きは、徳川将軍家と東北が浅からぬ関係にあったことを物語っています。</p> <p>徳川の“泰平の世”はいかにして築かれ、繁栄したのか。</p> <p>今まさにその世を築いた徳川家康の没後400年。江戸という時代を東北との関係を中心に振り返る展示です。</p> <p>歴代将軍の遺愛品や篤姫、和宮の調度品など本県初公開の資料を多数展示しますので、ぜひこの機会をお見逃しなく！</p>	 <p>重要文化財 芭蕉蒔絵硯箱〔徳川家康所用〕</p> <p>[問合せ先] 秋田県立博物館 TEL 018-873-4121</p>